

【専門分野】

科目		単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
※小児看護学概論		1（15）	1	第2学期	専任教員
目 標					
小児の成長発達と健康増進のための小児と家族への看護実践について学ぶ					
ディプロマポリシーとの関連：DP1、DP2、DP5の達成に寄与					
回	時間	授業内容	授業方法	課題	
1	2	1．小児看護の特徴と理念、子どもの権利、意志決定支援 2．小児保健（予防接種）	講義		
2	2	3．小児看護に活用される理論 （セルフケア理論 発達理論 親子関係論 家族理論）	講義		
3	2	4．家族の特徴とアセスメント 5．子どもの成長と発達	講義		
4	2	6．各期の成長発達の特徴と看護 1）新生児期・乳児期	講義 GW	【事前課題】 課題学習	
5	2	2）幼児期・学童期	講義 GW		
6	2	3）思春期・青年期	講義 GW		
7	2	7．病気、障害をもつ子どもと家族の看護 8．子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 9．子どもの虐待と看護	講義		
8	1	終講試験			
授業形態		講義および演習			
評価方法 点数配分		筆記試験 80点、講義での提出物・課題レポート20点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト		小児看護学概論 小児臨床看護総論 ： 医学書院			
その他		※この科目は実務経験のある教員による授業科目である			

【専門分野】

科目		単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
小児臨床総論		1（15）	2	第1学期	医師
目 標					
小児に特徴的な疾患・症状について学ぶ					
ディプロマポリシーとの関連：DP4、DP5、DP2の達成に寄与					
回	時間	授業内容		授業方法	課題
1	2	1. 小児期に特徴的な症状 1) 一般状態：不機嫌・啼泣 2) 痛み 3) 呼吸・循環系の症状：呼吸困難・チアノーゼ・ショック・咳・喘鳴・無尿 等 4) 発熱：熱性痙攣 5) 消化器症状：嘔吐・下痢・便秘・腹痛 6) 水分・電解質異常：脱水・浮腫 7) 血液：出血・貧血 8) 神経・筋症状：けいれん・ふるえ 9) 発疹 2. 小児に特徴的な疾患と治療 1) 先天異常・新生児疾患：染色体異常・ダウン症候群 2) 循環器疾患：心室中隔欠損症・ファロー四徴症		講義	
2	2	3) 代謝性・内分泌疾患：I型糖尿病・低身長		講義	
3	2	4) 免疫・アレルギー性疾患：川崎病・気管支喘息・食物アレルギー		講義	
4	2	5) 呼吸器疾患：気管支炎・肺炎 6) 感染症：ウイルス感染症・細菌感染症		講義	
5	2	7) 消化器疾患：潰瘍性大腸炎・腸重積症・鎖肛・胆道閉鎖 8) 腎・泌尿器疾患：腎炎・ネフローゼ		講義	
6	2	9) 血液疾患：白血病・血友病		講義	
7	2	10) 神経疾患：てんかん・熱性痙攣・脳性麻痺		講義	
8	1	終講試験			
授業形態		講義および演習			
評価方法 点数配分		筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト		小児看護概論 小児臨床看護総論 ： 医学書院 小児臨床看護各論 ： 医学書院			
その他					

【専門分野】

科目		単位（時間数）	年次	開講時期	担当者	
※小児看護援助論Ⅰ		1（30）	2	第1・2学期	① 専任教員（16時間） ② 専任教員（8時間） ③ 看護師（6時間）	
目 標						
慢性期および終末期にある小児とその家族への看護と、成長発達に合わせた援助方法について学ぶ						
ディプロマポリシーとの関連：DP5、DP2、DP4、DP1の達成に寄与						
回	時間	授業内容	授業方法	担当	課題	
1	2	1. 慢性期にある子どもと家族への看護（幼児期・学童期） 2. 慢性の経過をたどる子どもと家族の看護 1) 腎・泌尿器系に障害のある子どもと家族への看護	講義	①	【事前】 課題学習	
2	2	① 生活制限が必要な子どもと家族への看護 （活動制限・食事制限）	講義	①	【事前】 課題学習 ワークシート	
3	2	ストレス対処への支援	講義	①	【事後】 課題学習	
4	2	2) アレルギー疾患をもつ子どもと家族への看護 気管支喘息（幼児期）の患児の看護過程の展開 ①小児気管支喘息の病態、症状、診断、治療	講義	②		
5	2	②小児気管支喘息患児の看護 ・急性発作時への対応 ・薬物療法時の看護（吸入） ・患児への指導・教育	講義	②		
6	2	③気管支喘息（幼児期）の患児の看護：看護計画立案	講義 GW	②		
7	2	④気管支喘息（幼児期）の患児への看護の実際：ロールプレイ	演習	②		
8	2	3) 障害のある子どもと家族の看護 呼吸管理、療養環境の調整、人権の尊重・プライバシーの保護	講義	③		
9	2	4) 神経疾患と看護 ①けいれんのある子どもの看護 ②脳性麻痺の子どもの看護	講義	③		
10	2	5) 医療的ケアを必要とする子どもと家族への看護 ・子どものセルフケア行動の促進	講義	③		
11	2	3. 小児がんの子どもと家族への看護 1) 白血病：（学童期）看護 ①白血病の病態や主な症状、検査、治療 ②白血病の子どもの入院時の看護	講義	①	【事前】 白血病： 復習プリント	
12	2	③小児がんの子どもへの告知 ④小児がんの子どもを持つ家族の心理	講義 演習 GW	①	【事前】 子どもの告知に ついて資料を読む	
13	2	⑤化学療法・骨髄移植を受ける子どもと家族への看護 ⑥隔離が必要な子どもと家族への看護 ⑦家族の面会・付き添い時の指導と支援（感染予防など）	講義 演習 GW	①	【事前】 調べ学習 【事後】 課題学習 ワークシート	
14	2	4. 終末期にある子どもと家族の看護 1) 子どもの死の概念 2) 終末期にある子どもと家族の特徴 3) 終末期にある子どもと家族への援助	講義 演習 GW	①		
15	1	4) 子どもを亡くした家族の心理	講義	①		
16	1	終講試験		①		
授業形態		講義および演習				
評価方法 点数配分		筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする				
テキスト		小児看護学（1） 小児看護学概論 小児臨床看護総論：医学書院 小児看護学（2） 小児臨床看護各論 ： 医学書院 写真でわかる小児看護援助技術アドバンス ： インターメディカ				
その他		※この科目は実務経験のある教員による授業時間がある科目である				

【専門分野】

科目		単位（時間数）	年次	開講時期	担当者	
※小児看護援助論Ⅱ		1（30）	2	第1学期	① 専任教員（20時間） ② 看護師（2時間） ③ 看護師（4時間） ④ 看護師（4時間）	
目 標						
小児期にある対象の健康障害に応じた看護技術を習得する。急性期および周手術期にある小児とその家族への看護と、成長発達に合わせた援助方法について学ぶ						
ディプロマポリシーとの関連：DP5、DP2、DP4の達成に寄与						
回	時間	授業内容	授業方法	担当	課題	
1	2	1. 小児看護に必要な看護技術 1) 子どもとのコミュニケーション 2) 発達に応じた説明と同意 3) プレパレーション	講義	①		
2	2	4) 子どもの事故防止と安全確保	講義 演習	①	【事前】 課題学習	
3	1	5) バイタルサイン測定・身体計測	講義	①		
4	2	2. 小児看護に必要な検査・処置・治療に伴う看護技術 1) 検査介助：骨髄穿刺・腰椎穿刺 採血・採尿・与薬（シロップ・座薬等）輸液管理	講義	①	【事前】 課題学習	
5	2	2) 点滴静脈内注射の管理・固定 3) バイタルサイン測定の実際	講義 演習	①	【事前】 動画視聴	
6	2	3. 急性期にある子どもと家族の看護 1) 急性期にある子どもと家族の特徴 2) 急性期にある子どもと家族への援助	講義	②		
7	2	4. 急性期の状態にある子どもと家族への看護 1) 循環器系に障害のある子どもの看護（川崎病：乳幼児期） ①主な症状に対する看護（発熱、痛み、皮膚症状） ②検査時の看護	講義	③		
8	2	2) 呼吸器系に障害のある子どもと家族への看護（肺炎：乳幼児期） ①主な症状に対する看護（呼吸困難）	講義	④		
9	2	②症状緩和への援助（呼吸管理）	講義	④		
10	2	3) 消化器系に障害のある子どもと家族への看護（急性胃腸炎：乳幼児期） ①主な症状に対する看護（嘔吐、下痢） ②症状緩和への援助	講義	③		
11	2	5. 手術を受ける子どもと家族の看護 1) 手術を受ける子どもの特徴 2) こころの準備と身体の準備	講義	①	【事後】 ワークシート	
12	2	3) 術前・術後の看護 4) プレパレーションの実際（準備）	講義 演習	①		
13	2	4) プレパレーションの実際（発表）	演習	①		
14	2	6. 子どもの救急処置 ①気道内異物（誤嚥）の特徴 ②消化管内異物（誤飲）の特徴と処置 ③溺水と処置 ④熱傷と処置	講義	①	【事後】 ワークシート 動画視聴	
15	2	⑤心肺蘇生法（乳幼児の意識レベル）⑥気道内遺物除去法	演習	①		
16	1	終講試験		①		
授業形態		講義および演習				
評価方法 点数配分		筆記試験 70点 課題点30点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする				
テキスト		小児看護学概論・小児臨床看護総論：医学書院 小児臨床看護各論：医学書院 臨床外科看護総論：医学書院（周手術期看護） 写真でわかる小児看護援助技術アドバンス：インターメディカ				
その他		※この科目は実務経験のある教員による授業時間がある科目である				

【専門分野】